

視 点

新たな地域医療構想 検討会が報告書まとめる

厚労省の地域医療構想及び医療計画等に関する検討会が報告書をまとめた。これを受け、厚労省は新たな地域医療構想のガイドラインを作成し、都道府県は2028年度までに構想を策定する。

従来の地域医療構想は2025年を目指した構想であった。病床機能に着目し、高度急性期、急性期、回復期、慢性期の機能分化・連携を促し、各機能の病床数が医療ニーズに基づく必要病床数と整合することを狙った。人口構造の状況からみて、急性期の病床数はまだ過剰かもしれないが、全体の病

床数の適正化は進んだ。

新たな地域医療構想は、医療・介護の複合ニーズを抱える高齢者が増えていく2040年を見据えて策定する構想となる。高齢者が増える一方で、現役世代は相対的に減少する。医療資源に制約がある中で、変革なくして医療提供体制を維持することは困難だろう。

入院だけでなく、外来や在宅医療、介護との連携を視野に収めた医療提供体制を考えることが、従来の地域医療構想からの変化である。さらに、医療機関機能に着目したことも特筆すべき特徴だ。

医療機関機能には、「高齢者救急・地域急性期機能」、「急性期拠点機能」、「在宅医療等連携機能」、「専門等機能」、「医療及び広域診療機能」がある。地域の実情によりその位置づけは異なるが、病院として担う機能が明確化される。明確化の過程では、病院の連携・再編・集約化が加速すると見込まれる。

令和8年度診療報酬改定がそれを後押しする。特に、急性期病院A・B一般入院料の新設や地域包括医療病棟の入院料の細分化の影響が大きいと感じる。それぞれの地域で関係者が協議し、納得の下で変革が進むことを期待する。

社会保険旬報 目次

No.2995 2026年4月1日

座標

- 全日病が政策提言を提出
- 介護保険部会が計画策定に向け議論 …… 4
- 日慢協が令和8年度改定を評価
- 法人役員等の医療保険資格取扱いで通知 …… 5

レコーダ

- MMPG 主催 2026年度
- 診療報酬改定セミナー
- 賃上げ・物価対応や急性期
- 入院医療などの内容を解説 …… 6

論評

- 危機に強い医薬品安全保障の確立
- 医薬品国内自給率3割を克服するために
- 〈後編〉 田前 雅也 …… 16

霞が関と現場の間で⑭

- 「国民負担率50%以下」という壁が在った
- 中村 秀一 …… 25

連載

- 水俣病問題
- 認定と補償の問題にかかわって (1)
- 和田 勝 …… 26

BOOK REVIEW

- 『歌集 漂老』 …… 31

潮流

- 厚労省が高齢者・国保課長会議開く …… 32
- 国立大学病院長会議が会見 …… 34
- 日医の医療情報システム協議会 …… 35
- くすり未来塾が会員企業にアンケート調査 …… 36
- 新薬14成分20品目を薬価収載 …… 37
- 医薬品産業政策の今後の見通し …… 38

NEWS

- 近総協が総会開く
- 令和8年度事業報告を承認 …… 39

- 年金の動き …… 41

- 編集室・ワードカプセル …… 42